

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公開番号】特開2008-194510(P2008-194510A)

【公開日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2008-130716(P2008-130716)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月3日(2010.9.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

機内の被制御機器の動作を制御する制御装置として、該被制御機器の制御に関連する遊技制御情報を停電時においても記憶保持可能で、停電検出情報がアクティブになると少なくとも前記遊技制御情報を記憶保持するための処理を含む停電処理を実行し、リセット情報がアクティブになると機能停止するバックアップ機能付き制御装置を有するとともに、

停電の発生により電源電圧が停電検出電圧に低下すると、前記停電検出情報をアクティブとする停電検出手段と、

前記停電検出情報がアクティブとなってから前記停電処理を実行するのに十分な時間が経過後に前記リセット情報をアクティブとするリセット情報制御手段と、
を備え、

前記停電検出手段は、電源が再投入された場合、電源電圧の安定値よりも低く設定された停電復帰電圧を超えてから電源電圧が十分安定する所定時間経過後に前記停電検出情報を非アクティブに戻す機能を有し、

前記リセット情報制御手段は、前記停電検出情報が非アクティブに戻されると、その後に前記リセット情報を非アクティブに戻す機能を有し、

前記遊技制御情報を停電時において記憶保持不可能なバックアップ機能無し制御装置を備え、該バックアップ機能無し制御装置は、電源が再投入された場合、前記バックアップ機能付き制御装置に対するリセット情報が非アクティブに戻されるよりも前に起動するようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記バックアップ機能付き制御装置として、

遊技の進行を制御し遊技価値の発生に基づいて遊技価値情報を出力する遊技制御装置と、

前記遊技制御装置から出力される遊技価値情報をに基づいて遊技価値を排出する排出制御を行う排出制御装置とが設けられ、

前記遊技制御情報には、少なくとも前記遊技価値情報を含まれ、

前記リセット情報制御手段は、前記排出制御装置に対してリセット情報を非アクティブにした後、所定の遅延時間が経過してから該遊技制御装置を非アクティブにすることを特

徵とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的達成のため、請求項 1 記載の遊技機は、機内の被制御機器の動作を制御する制御装置として、該被制御機器の制御に関連する遊技制御情報を停電時においても記憶保持可能で、停電検出情報がアクティブになると少なくとも前記遊技制御情報を記憶保持するための処理を含む停電処理を実行し、リセット情報がアクティブになると機能停止するバックアップ機能付き制御装置を有するとともに、

停電の発生により電源電圧が停電検出電圧に低下すると、前記停電検出情報をアクティブとする停電検出手段と、

前記停電検出情報がアクティブとなってから前記停電処理を実行するのに十分な時間が経過後に前記リセット情報をアクティブとするリセット情報制御手段と、

を備え、

前記停電検出手段は、電源が再投入された場合、電源電圧の安定値よりも低く設定された停電復帰電圧を超えてから電源電圧が十分安定する所定時間経過後に前記停電検出情報を非アクティブに戻す機能を有し、

前記リセット情報制御手段は、前記停電検出情報を非アクティブに戻されると、その後に前記リセット情報を非アクティブに戻す機能を有し、

前記遊技制御情報を停電時において記憶保持不可能なバックアップ機能無し制御装置を備え、該バックアップ機能無し制御装置は、電源が再投入された場合、前記バックアップ機能付き制御装置に対するリセット情報が非アクティブに戻されるよりも前に起動するようにしたことを特徴とする。

なお、上記「遊技制御情報」として記憶保持する情報は、純粋な遊技状態の情報（例えば、第 1 種のパチンコ機であれば、変動表示中か、大当たり中か、客待ち状態かなどの情報）だけでもよいし、その他の情報、例えば未排出の遊技価値情報（パチンコ機であれば、未排出の賞球数情報）だけでもよいし、或いはこれら複数の情報を含むものでもよい。また必ずしも、例えば遊技状態の情報そのものを含む必要はなく、遊技状態や制御状態を再開できる情報（例えば、マイコンを構成する C P U のスタックポインタや各レジスタのデータ等）であってもよい。

また、「停電検出情報」或いは「リセット情報」は、例えば、一方の値がアクティブで他方の値が非アクティブとして定義付けられた 2 値信号（バックアップ機能付き制御装置に対して外部より出力される信号）よりなるものでもよいし、一方の値がアクティブで他方の値が非アクティブとして定義付けられたフラグ等の 2 値データ（バックアップ機能付き制御装置内のデータ）であってもよい。

また、「停電検出手段」や「リセット情報制御手段」は、バックアップ機能付き制御装置外に設けられた回路より構成してもよいし、バックアップ機能付き制御装置内の個別の回路によって構成することもできるし、バックアップ機能付き制御装置を構成する処理手段（マイクロコンピュータ等）の機能として実現することもできる。

また、「停電検出手段」は、必ずしも停電のみを検出するものに限られず、停電による電源遮断と、通常の電源オフ操作による電源遮断とを区別せずに検出するものでもよい。

また、請求項 2 記載の遊技機は、前記バックアップ機能付き制御装置として、

遊技の進行を制御し遊技価値の発生に基づいて遊技価値情報を出力する遊技制御装置と、

前記遊技制御装置から出力される遊技価値情報を基づいて遊技価値を排出する排出制御を行なう排出制御装置とが設けられ、

前記遊技制御情報には、少なくとも前記遊技価値情報を含まれ、

前記リセット情報制御手段は、前記排出制御装置に対してリセット情報を非アクティブにした後、所定の遅延時間が経過してから該遊技制御装置を非アクティブにすることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1記載の発明によれば、停電検出情報がアクティブとなってから停電処理を実行するのに十分な時間経過後リセット情報がアクティブとなるので、停電処理を完全に実行し終わることが確実に可能で、バックアップ機能付き制御装置において停電時に記憶保持すべき情報が適正かつ確実に記憶保持される。このため、電源再投入後にその情報に基づいて、遊技の再開等が確実に可能となる。

また、停電検出手段は、電源が再投入された場合、電源電圧の安定値よりも低く設定された停電復帰電圧を超えてから電源電圧が十分安定する所定時間経過後に前記停電検出情報を非アクティブに戻す機能を有し、前記リセット情報制御手段は、前記停電検出情報を非アクティブに戻されると、その後に前記リセット情報を非アクティブに戻す機能を有するので、リセット状態の解除（即ち、リセット情報の非アクティブ状態への復帰）が、確実に電源電圧が安定状態になり、かつ停電検出情報を非アクティブに戻された後に行われるので、制御装置の起動（機能復帰）が、特に信頼性高く安全な状態で実現できる。

請求項2記載の発明によれば、遊技の進行を制御し遊技価値の発生に基づいて遊技価値情報（賞球数情報）を出力する遊技制御装置と、この遊技制御装置から出力される遊技価値情報に基づいて遊技価値を排出する排出制御を行う排出制御装置とが、バックアップ機能付き制御装置とされ、停電時に記憶保持される情報（遊技制御情報）には、遊技者の利益に直結する遊技価値情報が少なくとも含まれる。このため、遊技者の利益に最も影響の高い遊技価値情報が、停電時にも信頼性高く記憶保持され、この遊技価値情報に基づく未払の遊技価値の払出しが、停電復帰時に適正かつ確実に実行できる。したがって、停電等による遊技者の不利益や遊技店とのトラブルの発生を信頼性高く回避できる。

また、リセット情報制御手段は、遊技制御装置及び排出制御装置に対してリセット情報を非アクティブにする際に、該排出制御装置よりも遅延させて該遊技制御装置を非アクティブにするので、排出制御装置での情報のとりこぼしをできるだけ回避することができる。